

平成30年度 文教委員会資料①

【所管事務の調査（報告）】

（仮称）アートガーデン特別展示室における事業運営について

資料

（仮称）アートガーデン特別展示室における事業運営について

市 民 文 化 局

（平成31年1月31日）

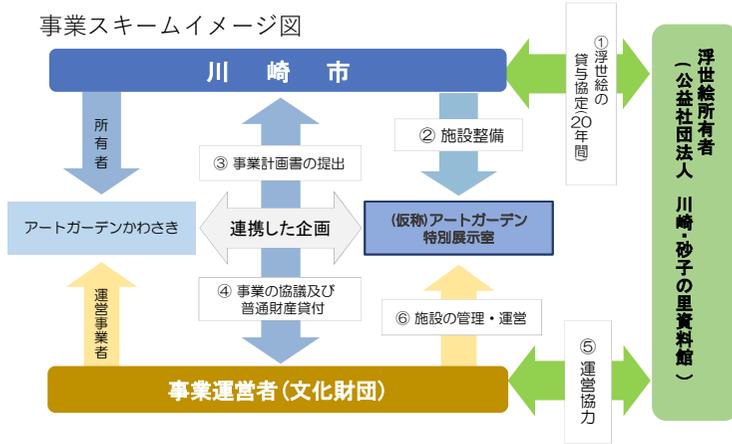
(仮称)アートガーデン特別展示室における事業運営について

I 事業の概要

1 事業のスキーム

川崎市と公益社団法人川崎・砂子の里資料館(以下「社団法人」という。)との間で締結した「浮世絵等の美術品の活用に関する基本協定書」(平成30年8月31日締結)に基づき、20年間にわたり展示に必要な浮世絵作品を無償で借用。

本市が整備する(仮称)アートガーデン特別展示室(以下「特別展示室」という。)において、本市と公益財団法人川崎市文化財団(以下「文化財団」という。)が協議した上で、事業運営に関する事項を示した「事業計画書」に基づき、文化財団が展示等施設運営を実施。



2 施設の概要

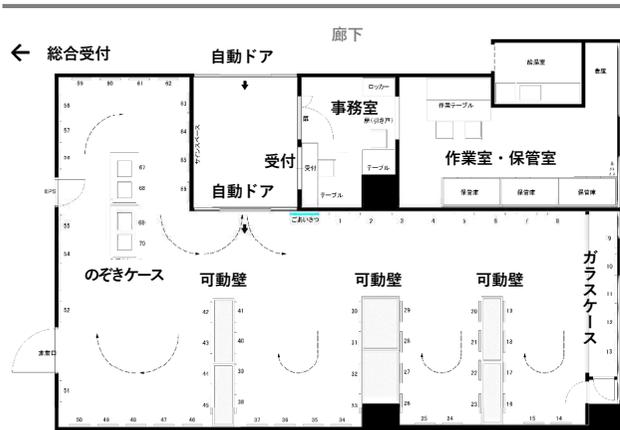
名称：(仮称)アートガーデン特別展示室(※今後、文化財団において決定)

所在地：川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3階

整備面積：約150㎡

整備内容：空調設備、消火設備、LED照明設備、展示設備、Wi-Fi設置、監視カメラ設置等

【特別展示室 平面図案】



※アートガーデン入口で総合受付と物販を兼ねた受付ブースを設置

II 文化財団による事業計画の概要

1 管理運営における基本方針

- (1) 良質な文化芸術作品を多く含む浮世絵コレクションの鑑賞機会の提供
- (2) 浮世絵の背景にある日本文化を体験等を通じて発信
- (3) 地域にゆかりのある作品などを通じた町への愛着と誇りの醸成
- (4) 浮世絵作品を活用した新たなにぎわいを創出し、入館者数6万人達成を目指した集客効果のある取組を実施

2 運営の概要

- (1) 休館日：月曜日、年末年始、展示替えの期間
- (2) 開館時間：11時から18時30分まで
- (3) 観覧料金：500円(ただし高校生以下、障がい者とその介助者1名は無料)
年間パスポート：3,000円で販売予定

3 人員体制

館長、学芸員資格のある専門員、専門員補助、受付・案内担当者等を配置

職名	勤務形態	配置人数	雇用人員	職務内容
館長	常勤	1名	1名	管理運営、事業実施の責任者
専門員(学芸員)	常勤	1名	1名	館長代行、企画立案、情報収集、受付・案内担当及び展示監視員の指導等
専門員補助	非常勤(アルバイト等)	1~2名	5~6名	専門員業務の補助、広報等
受付・案内	業務委託	—	—	アートガーデンと一体に行う受付(物販)業務、展示室内での案内業務
展示監視員	ボランティア等	若干名	—	展示監視及び簡単な解説

4 事業内容

【展示】

浮世絵という江戸時代などの時代背景を反映した日本の伝統文化芸術を、地域の方々や、多くの観光客などに見てもらい、また来たいと思わせる期待感に溢れた企画展を実施する。そのため、年度ごとに社団法人と協議を行いながら、希少なコレクションを活かし、系統や特性を意識した企画展示を実施する。

※企画展の契機となる主なトピックス

平成32年：葛飾北斎生誕260年

鈴木春信没後250年

平成33年：歌川国芳没後160年

など



葛飾北斎・凱風快晴



歌川国芳・讃岐院眷属をして為朝をすくふ図

【年間展示計画のイメージ】年8回程度開催(4~5週間サイクル)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展											

【物販】

- (1) 浮世絵に関連したグッズの販売 例：絵葉書やクリアファイルなど
- (2) 図録(年に数回作成)等の販売

(仮称)アートガーデン特別展示室における事業運営について

5 施設名称等

- (1) 施設の名称：正式名称に加え、地域の方々が愛着を持ち、覚えてもらいやすい名称を付与
- (2) ロゴマークの導入：効果的な広報を行うため、施設固有のロゴマークの導入を予定

6 広報計画

【広報】

- (1) 文化財団の運営する多様な文化施設での広報
- (2) 羽田空港、ホテル等の観光客利用の多い施設におけるポスター、チラシ等による周知
- (3) アートガーデンとの一体的な運営のメリットを活かした相互の利用者の取込み
- (4) 美術広報誌、インターネットサイトを活用した広報
- (5) ロゴマークを活用した効果的な広報

【利用促進・リピーターの確保】

- (1) 企画展ごとの目録を作成し、作品を紹介(無料で全員に配布)
- (2) 近隣施設、団体等と連携したイベント等の開催による地域活性化・施設の周知
- (3) 他の浮世絵美術館との連携を通じた相互周知による浮世絵ファンの来館を誘導
- (4) 教育委員会、近隣の学校等と連携し、校外学習の場としての活用を促進
- (5) 「かわさき きたテラス」を窓口にした観光客の戦略的な誘導
- (6) 年間パスポートの販売(特典や形状を通行手形にするなどの付加価値を付与)

【東京2020大会・訪日外国人への対応】

- (1) 羽田空港など訪日外国人が多く訪れる施設における重点広報
- (2) 東京2020大会に向けたイベント等における重点広報
- (3) ホームページの多言語表記(英・中・韓を検討)
- (4) SNS等での拡散を目的とした浮世絵の撮影スポットの設置
- (5) 外国語の堪能なボランティアの配置
- (6) 施設の入口案内看板及びキャプション等の外国語表記
- (7) Wi-Fi 設置による多言語翻訳アプリの活用・SNS 拡散
- (8) 音声多言語翻訳機の導入



羽田空港観光情報センター



浮世絵の撮影スポット(イメージ)



キャプションの英語表記(他館事例)

7 他施設等との連携

- (1) 文化財団が運営する多様な文化施設を通じた特別展示室の魅力を発信
- (2) 文化財団が運営する施設のチケットとのセット販売
- (3) 東海道かわさき宿交流館及び運営協力団体との連携
(多様なイベントとの連携、外国人対応への協力、まち歩きのコースとして追加)
- (4) 図書館、市民ミュージアム等との連携(特別展示室の企画と合わせた事業展開の実施)
- (5) 川崎市観光協会、地域商店街、鉄道事業者等との連携によるPR活動

8 収支計画 (平成32年度～36年度 5か年)

【単位：千円】

費目	H32	H33	H34	H35	H36	備考
観覧料金	19,800	19,800	19,800	19,800	19,800	50,000人(来館者) - 10,400人(無料来館者等) = 39,600人/年 39,600人 × 500円 = 19,800千円 ※無料来館者等は、他の浮世絵美術館の実績
グッズ販売	3,410	3,410	3,410	3,410	3,410	39,600人 × 86円(平均個人購買額) = 約3,410千円 ※平均個人購買額は、他の浮世絵美術館の実績
図録販売	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980人(図録想定購買者) × 1,000円(想定単価) = 1,980千円 ※想定購買者数は他の浮世絵美術館の実績(5%)
年間パスポート	1,575	1,575	1,575	1,575	1,575	525人(年間パスポート想定購買者) × 3,000円 = 1,575千円 ※想定購買者数は他の浮世絵美術館の実績(1.05%)
合計 a	26,765	26,765	26,765	26,765	26,765	

人件費(館長、専門員)	8,020	8,193	8,399	8,506	8,701	給与費2名、社会保険料、通勤費 毎年2~3%程度の上昇を見込む。
アルバイト、委託業務等	7,331	7,331	7,331	7,331	7,331	専門員補助、受付・監視、アドバイザー契約
広報関係	2,355	2,355	2,355	2,355	2,355	広報・ホームページ管理、消耗品・通信運搬
浮世絵作品関係	2,943	2,943	2,943	2,943	2,943	作品運搬・保険料、浮世絵マット購入
図録作成費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	図録作成
光熱水費	568	568	568	568	568	電気料、水道料 ※アートガーデンとの案分による。
施設保守等	903	903	903	903	903	空調・自動ドア保守、清掃・警備
合計 b	24,120	24,293	24,499	24,606	24,801	
収支 a-b	2,645	2,472	2,266	2,159	1,964	

Ⅲ 今後のスケジュール(平成30年度・31年度 予定)

